

公益財団法人盛岡観光コンベンション協会

令和6年度事業評価書

(令和2年度～令和6年度)

令和7年7月

事業運営計画事業一覧

【観光振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(1) 広報宣伝事業 重点施策【A・B・C】	ホームページや全国紙，地方紙，ネット広告，空路・鉄道の各ターミナル地域の露出とし，県外客誘客を図る。 ホームページは，閲覧者数が頭打ちのため，英語での運用及び利用者の多いスマートフォン向け表示機能も追加し訪問者数増を図る。	観光イベント等情報の新聞やネット広告掲載及びホームページを活用し情報発信する事業。 指標：①新聞掲載回数（当協会内事務局含） ②協会ホームページ訪問回数(hellomorioka)							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (回)	5	2	0	1	2	2	10
		指標② (回)	158,774	111,795	88,051	105,379	201,049	156,714	212,000
(2) 観光案内事業 重点施策【A】	観光客に盛岡市民が盛岡のまち並みや見どころを丁寧に案内し，盛岡の魅力を楽しんでいただくことにより，触れ合いを伴う印象的な観光振興を実現する。	市民観光ボランティアガイドが盛岡の魅力を組み込んだ「啄木・賢治青春の道」「先人と町家の道」ほかのコースにより，徒歩観光を楽しんでもらう事業。 指標：①ふるさとガイドによる案内客数 ②岩山展望デッキ等利用者数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	2,107	334	344	498	1,739	1,300	2,500
		指標② (人)	43,325	42,483	29,582	25,701	27,763	30,121	45,000
(3) 観光客誘致促進事業 重点施策【A・B・C】	盛岡及び盛岡広域圏へ国内外の観光客や修学旅行生などの誘致を図る。	誘致キャンペーンへの出展，ルートセールスによるPR・誘客活動及び各種イベント実施団体に対する支援を行い集客を図る事業。 指標：①国内外観光客及び教育旅行誘致活動回数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (回)	3	1	3	6	6	12	5

(4) まつり行事 振興事業 重点施策 【A】	盛岡さんさ踊り振興協議会や山車運行委員会等の事務局として、伝統文化イベントやまつり行事に参画するとともに、その他の同様な行事支援育成及び県内外へのPRにより観光振興を図る。	各種まつり、伝統行事への支援、助成及び告知宣伝を行う事業。 指標：①支援・助成したまつり行事数（負担金・助成金交付） ②さんさ団体派遣回数 ③盛岡山車参加者数（3日間延べ） ※R2～R4 山車運行はコロナの影響により中止							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (回)	13	2	8	14	15	15	13
		指標② (回)	26	162	180	255	256	282	30
	指標③ (人)	652	—	—	—	812	815	700	
(5) フィルム コミッション事業 重点施策 【A】	盛岡広域の観光資源を地元ブランドとして、テレビ、映画等の映像を通じて全国にPRし、誘客を図り観光振興につなげる。	映像制作関係者にロケ適地を紹介するほか、ロケ隊の現地案内、撮影許可支援等を行うことによりテレビ・映画等のロケを誘致する事業。 指標：①ロケ全支援数 ②ロケ支援数（①のうち映画・テレビ）							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (件)	61	50	33	33	38	39	70
	指標② (件)	42	25	18	22	20	25	40	
(6) 玉山地域 観光振興事業 重点施策 【A】	玉山地域の観光資源について、広く周知し興味をもっていただくことにより誘客を図り観光振興につなげる。	1. 啄木学級文の京(ふみのみやこ)講座 石川啄木終焉の地である東京都文京区において、啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行うとともに盛岡市の特産品の紹介、販売、観光情報を提供するなど首都圏の住民に盛岡のPRを行う事業。 ※R2 文の京講座はコロナの影響により中止 2. 啄木学級故郷(ふるさと)講座 石川啄木記念館敷地内にある旧渋民尋常小学校において、盛岡広域の住民を対象として啄木に造詣の深いゲストを招いての講演会を行う事業。 ※R3～R4 故郷講座はコロナの影響により中止 3. 姫神山やま開き 姫神山登山口において登山の安全祈願後、一斉登山を行い、優れた景観と自然環境をPRしながら観光振興に結びつける事業。 指標：①啄木学級文の京講座参加者数 ②啄木学級故郷講座参加者数 ③姫神山やま開き参加者数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	333	—	76	106	270	213	350
		指標② (人)	31	21	—	—	20	25	35
	指標③ (人)	1,200	8	13	130	250	400	1,200	

(7) 観光客受入体制整備事業	JNTO 認定カテゴリ2の外国人案内所として、盛岡駅を利用する国内外の観光客や学会等で来県する人々に、県内と周辺広域圏の観光地・各種イベント情報を提供し、おもてなしの充実を図る。	盛岡駅構内南口の「いわて・盛岡広域観光センター」において、観光案内や観光パンフレットの提供及び宿泊施設の紹介等を行い、来盛者の利便に供する事業。 指標：①いわて・盛岡広域センター対応者数 ※令和6年度 盛岡駅北口臨時観光案内所開設(4~12月。但し11~12月は土日祝のみ) 対応者数含む							
重点施策【A・B・C】		参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	
		指標① (人)	37,645	12,891	15,130	30,655	84,058	71,100	45,000

【MICE 振興事業 (公益目的事業)】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(8) MICE 誘致支援事業	国内外の大会・学会を盛岡及び岩手県内に誘致し、成功に導くことにより地域経済の活性化に貢献する。	1. 各種誘致商談会へ盛岡ブースを出展するなどしコンベンション主催者及び旅行者等へ誘致活動を行う事業。 2. 観光パンフレットの提供、サポーター派遣等の大会支援、これらを展開することにより誘致と大会成功につなげる事業。 指標：①MICE 誘致商談件数 ②コンベンションの支援件数 ③コンベンションの参加者数							
重点施策【B】		参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	
		指標① (件)	73	7	7	28	58	111	90
		指標② (件)	89	13	15	55	65	79	120
		指標③ (人)	52,092	1,730	5,459	30,978	26,407	47,139	75,000
(9) 企画開発情報収集事業	コンベンション開催調査を実施し、データベース化する。また、各種会議、研修会等において誘致・支援に必要な情報収集を行い、新たな誘致活動に活用するほか、郷土の特色を活かした企画提案に結びつける。	地元大学や各種団体の大会・学会主催者に関するアンケートを行うとともに、個別訪問による情報収集を強化し、データベース化して誘致、支援に活用する。また、全国、東北規模で行われる各種連絡会議等に参加して情報収集し、地元のおもてなしメニュー(ユニークプログラム)を企画開発する事業。 指標：①情報収集活動回数							
重点施策【B】		参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値	
		指標① (回)	4	1	1	1	4	4	6

(10) 盛岡 MICE 助成金交付事業 重点施策 【B】	助成金を交付することにより、より多くの MICE 開催を誘導を図る。	盛岡 MICE 助成金を交付し、地域活性化を図る事業。 指標：①MICE助成金交付件数 ②MICE助成金対象参加者人数 ③MICE助成金交付金額							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (件)	22	2	2	15	15	21	32
		指標② (人)	14,799	443	550	7,562	5,897	13,684	21,000
	指標③ (千円)	14,050	400	500	8,600	6,400	13,800	26,000	

【自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業（公益目的事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値
(11) 自主企画事業の展開などによる観光・文化の振興事業 重点施策 【A】	盛岡市から管理指定を受けている観光文化施設において自主企画事業を展開し、盛岡広域の観光・文化に興味や関心をもっていただくことにより観光客の誘致及び交流人口の拡大を図る。	1. 盛岡市観光文化交流センター (1) 伝統芸能文化振興事業 地域に伝わる郷土芸能を固有の文化として継承させていくために、演舞機会と鑑賞機会を提供し、親しみを持って楽しんでいただく事業で、若年層等新規観客層の開拓を推進する。 (2) おでってシアター おでってホールの立地とステージ環境を効果的に活用し、地元アーティストの文化芸術活動を支援する文芸や音楽等のイベントを展開するとともに、ジャンルを超えた常連層の拡大を推進する。 2. もりおか啄木・賢治青春館 (1) 各種企画展 石川啄木や宮沢賢治をはじめ、地域に根差した人物、素材を活用し、絵画展や文学展等を企画開催し、通年で集客を図れるよう質の向上とリピーター確保を推進する。 (2) 各種コンサート 国重要文化財としてのブランドと良好な音響環境を持った建物の特性を活かし、弦楽器を主体としたコンサートを開催することにより、親近感のある場所として集客向上を推進する。 3. もりおか歴史文化館 当協会の観光アテンダントが「まちなか情報センター」及び「ミュージアムショップ」において、来館者に盛岡広域の観光、自然、各種観光施設を紹介するなど同館の受付機能を活用し広く観光案内を実施する。

	指標：①交流センター自主事業入場者数 ②青春館自主事業参加者/入場者数 ③もりおか歴史文化館入館者数 ※もりおか啄木・賢治青春館の管理委託事業は令和5年度にて終了したため、令和6年度は評価対象より除外。							
		参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
	指標① (人)	901	998	156	216	405	476	900
	指標② (人)	20,172	7,650	9,201	16,790	22,480	—	20,000
	指標③ (人)	216,999	64,949	69,703	147,913	230,863	249,188	220,000

【施設の管理運営事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(12) 観光・文化 施設の管理運営 事業 重点施策 【A・D】	盛岡市から管理指定及び管理委託を受けている観光・文化施設において、観光案内など利用サービスの充実を図るとともに施設の適切な維持管理を行い利用者が快適に過ごせるようにする。	1. 盛岡市観光文化交流センター ・観光文化情報プラザにおいて、国内外の観光客や修学旅行生等に対し、盛岡広域の観光情報の提供やまち歩き観光の魅力を紹介するほか、観光相談・助言を行うなど総合的な観光案内を実施する。 ・ホール、ギャラリー、会議室等について、貸室業務を行うとともに利用者増につながるようPRを行う。 ・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。 2. もりおか啄木・賢治青春館 ・物販コーナーにおいて、石川啄木・宮沢賢治に関する書籍や絵葉書、土産用観光グッズを販売する。 ・観光客等の懇談、休憩場所として喫茶コーナーを管理運営する。 ・施設について、効率的で、かつ安全、衛生面に配慮した維持・管理を行う。 3. 啄木新婚の家 ・市内唯一の武家屋敷という貴重な文化施設として、また市内観光ルートの名所の一つとして、盛岡市から管理受託（単年度）する啄木新婚の家について、適切な管理運営を行う。 指標：①交流センター入館者数 ②青春館入館者数 ③啄木新婚の家入館者数 ※啄木新婚の家管理受託事業は令和2年度にて終了したため、令和3年度以降の評価対象より除外。 ※もりおか啄木・賢治青春館の管理委託事業は令和5年度にて終了したため、令和6年度評価対象より除外。							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標① (人)	104,838	39,339	42,712	67,930	92,956	110,050	110,000
		指標② (人)	40,112	26,584	35,446	54,903	78,486	—	42,000
		指標③ (人)	15,744	6,473	—	—	—	—	17,000

【収益に関する事業（収益事業）】

事業名	目的	事業内容及び目標値							
(13) 収益に関する事業 重点施策 【A・B・C・D】	観光の振興及び交流人口の拡大を図り、もって地域の経済活性化と文化の向上に寄与するという目的を達成するため、収益事業による利益の一部を公益事業で使用するものである。	1 観光文化情報プラザにおける観光グッズ販売事業、プレイガイド事業、レンタサイクル事業 2 推薦の店標識貸与事業・接遇研修等 指標：①観光文化情報プラザ利用者数 ②接遇研修参加者数（延べ） ③推薦の店加盟会員数							
			参考値 (R1)	R2	R3	R4	R5	R6	目標値
		指標①(人)	36,327	13,136	15,729	19,267	22,962	34,146	37,000
		指標②(人)	155	54	110	77	118	119	160
	指標③(件)	115	111	108	109	107	84	150	

事業評価総括

1 総務部門

協会全体として、観光・コンベンション・施設運営の各事業を通じて、観光客やコンベンションの誘致並びに支援、文化の発信などの自主事業を市民協働、関係機関と連携して実施し、観光振興、交流人口の拡大を図るための事業を展開した。日本国内におけるインバウンド入込数が過去最高を記録したことに連動して、盛岡市においても外国人観光客が増加傾向となり、各観光関連事業所では、海外からの観光客の受入対応が必須となっていることから、善意ガイドの会員を講師に参加型の英語による演習を取り入れた実戦形式のインバウンドセミナーと接客の心得と言葉遣いを学ぶマナーセミナーを賛助会員対象として開催し、受け入れ態勢の整備を図った。

2 企画部門

盛岡市から管理委託を受けている盛岡市観光文化交流センターの入館者数は、目標値に達する結果となり、コロナ以前の水準に戻った。自主事業の入場者数や観光文化情報プラザ利用者数も目標値には届かなかったものの緩やかな増加となった。もりおか歴史文化館の入館者数は、令和5年度は目標値を超える実績となり、令和6年度は更に増加した。結果の要因としては、円安によるインバウンド客の増加に加え、令和5年1月にニューヨークタイムズ紙に掲載され、知名度が向上したことに

より国内旅行の目的地として当市が選ばれたことなどが考えられるが、この傾向を持続するよう PR やサービスの向上など更なる利用促進に努めたい。

3 観光部門

ホームページの閲覧数に関しては、令和5年1月にニューヨークタイムズ紙上において盛岡が紹介された影響により、一時的に大幅な増加を記録したが、現在はコロナ禍以前の水準に戻りつつある状況である。加えて、昨今における情報発信手段の主流が、従来のホームページから SNS 等の媒体へと移行しつつあることを踏まえ、当協会においても、ホームページのリニューアルを含めた SNS 発信体制の強化について検討を進めていく必要があると考える。

また、盛岡ふるさとガイドの利用者数減少については、教育旅行における旅行単価の削減、特に物価高騰の影響による生徒一人当たりのコスト抑制が一因として推察される。今後は、一般観光客の誘致や団体ツアーへの組み込み等を視野に入れた広報・営業活動を展開しなければならない。

なお、さんさ踊り派遣件数および当協会が関与する山車運行や姫神山やま開きへの参加者数については、いずれも増加傾向にあり、これらの事業はおおむねコロナ禍以前の水準へと回復したものと評価できる。

4 コンベンション部門

令和6年度の MICE 助成金申請数は 22 件だった。学会等の実参加者数はコロナ前まで回復はしていないが、開催自体は現地開催になった。結果、MICE 助成金決定件数は 21 件であった。（条件があわず辞退となった学会 1 件）。また、コンベンション支援件数は、MICE 助成金決定件数を含めて 79 件となった。

盛岡広域フィルムコミッションの相談・支援については、盛岡がニューヨーク・タイムズ紙に「2023 年行くべき 52 か所」に掲載された以降の影響が継続しており、CM、旅番組等のロケ支援が多かった。しかし、TV 番組はドラマや映画の長期ロケ支援はあまり伸びなかった。